

# 歴史的化学論文大賞 受賞記念シンポジウム

化学の歴史を変えた一篇をふり返り、これからの未来について語る

歴史的化学論文大賞。それは、化学分野において歴史的ブレイクスルーをもたらした論文を表彰し、その研究機関が受賞するというユニークな賞。2021年、名古屋大学、分子科学研究所、高砂香料工業株式会社、ならびに京都大学がアジアの研究機関として初めて受賞した。本シンポジウムでは、名古屋大学が受けたこの歴史的な榮譽を記念するとともに、名古屋大学の高大連携プログラム「名大MIRAI GSC」と連携し、未来を担う若者と、これからの化学研究を国際的に先導する方策を討論する。

## 主な登壇者の紹介



### 野依 良治

名古屋大学特別教授  
科学技術振興機構研究開発戦略センター長  
2001年ノーベル化学賞受賞者

科学は自然の未知への挑戦、「発見」を目指し、技術は世の中になくもないものを創り、今までできなかったことを可能にする「発明」を目指す。自然界の恵みには自ずと限界があり、科学と技術の営みなくして文明社会の持続はあり得ない。化学は自然の観察と理解にとどまらず、「ほとんど無から高い価値を生み出す力」をもつ。そして、いつの時代にも、若者のみずみずしい感性と知性、そして高い志がその発展を担ってきた。



### 北村 雅人

名古屋大学 名誉教授

「泰平の眠りを覚ます上喜撰たった四杯で夜も眠れず」だった江戸の人々、奮発して明治維新。その後、50年で西欧列強と肩を並べた日本。一万年も続いた平和な縄文時代に生まれた「大和魂」DNAが、この奇跡のような大発展を可能にしたように思います。不安定な世界情勢の今、まさにあなた達若人が日本の将来を大きく変えます。大和魂と挑戦心を忘れずに、縁を大切に失敗を恐れることなくフルスイングしてみてください。



### 大熊 毅

北海道大学  
大学院工学研究院 教授

名古屋大学・野依研究室の門を叩いて以来、35年以上に渡って「不斉水素化反応」の研究に取り組んできましたが、まだまだ道半ばです。終わりが無い課題だからこそ、楽しい没頭できるのかもしれませんが、今回受賞対象となった論文の研究で、私は不斉水素化反応と出会い、研究の道を志しました。学生の皆さんにもこうした「一生の出会い」がずっと訪れることでしょう。チャンスを逃さず、思い切ってチャレンジしてください。



### 斎藤 進

名古屋大学  
学際統合物質科学研究機構 教授

水素は138億年ほど前にビッグバンにより創られ、宇宙の重量の70%以上は水素です。水素の核融合を経て地球も作られました。地球には宇宙空間とは異なるさまざまなかたちで水素原子が物質の中にありますが、水としてもたくさん存在します。水素を含む化学結合の切り貼りをもっとうまく操れば、物質の変換は大きく変わります。私の夢は、水や水素をうまく使い、持続可能な物質社会へと大きくゲームチェンジすることです。



### 八木 亜樹子

名古屋大学  
トランスフォーマティブ  
生命分子研究所 特任准教授

「炭化水素」に対するみなさんのイメージはどのようなものでしょうか。シンプルな言葉ゆえに無味乾燥と思う人も多いかもしれませんが、実は「カタチ」によって多様な性質を示すとてもユニークな分子群です。それらを自分の手で「つくる」こと、すなわち合成化学にもまた、奥深く面白い世界が広がっています。自身の最新の研究成果から、様々な炭化水素のもつ魅力や有機合成化学の醍醐味を伝えられたらと思います。



### 唯 美津木

名古屋大学  
物質科学国際研究センター 教授

原子・分子から、物質・材料の中まで、様々なスケールで起こる反応は、化学がもたらすさまざまな機能の源です。反応を促進するのに反応式に現れない「触媒」や、化学エネルギーを電気エネルギーに変える「燃料電池」の中では何が起きているのでしょうか？最先端の科学の目で観る化学の世界をぜひ実感してください。



### 渡辺 芳人

自然科学研究機構  
分子科学研究所 所長

野依良治先生の「不斉触媒反応」論文(1987年)が米国化学会の歴史的化学論文大賞を受賞し、高谷秀正先生が共同研究者であったことから、分子科学研究所も受賞の栄に浴することになりました。化学分野における共同利用研究所として、野依先生の独創的な研究に寄与出来たことを誇りに思っています。自由闊達な雰囲気の下、未解明課題に果敢に挑戦する研究を自らも牽引し、全国の研究者を支援する役割をこれまで以上に果たす決意です。



### 松村 和彦

高砂香料工業株式会社  
研究開発本部 分子変換研究所長  
ファインケミカル研究部長(兼務)

科学の世界では、セレンディピティ(偶然の出来事から本質的なことを学び取ること、あるいはその能力)という言葉がよく用いられます。実は、この「偶然」は誰のまわりにも平等に起こっています。しかし、問題意識を持って努力を続けている人でなければ見つけることができません。幅広い知識を身に付け、常に興味のアンテナを張ってセレンディピティを呼び寄せ、成功をつかみ取ってください。